

④農村計画学会2004年度秋期シンポジウム

テーマ：都市と農村の共生を目指した「生活創造圏」のあり方

大会実行委員会
学術交流委員会

趣旨：都市と農村の関係に関しては、古くからそのあり方が議論されてきた。近年、全国各地で市町村合併の動きが進んでいるが、そうしたなかで、地域住民が都市機能と農村機能の両者を享受しながら、豊かで活力ある生活圏をいかに創造していくかが、重要な検討課題となっている。本シンポジウムでは、生活創造圏の構築で積極的取り組みを行っている三重県の事例を中心として、他地域の取り組みも踏まえながら、都市と農村の共生を目指した生活創造圏をいかに構築していくかについての議論を深めたい。

日時：2004年12月3日（金） 13：20～17：20

場所：津市アストプラザ（JR・近鉄津駅東口 アスト津4階）

〒514-0009 三重県津市羽所町700

プログラム：

進行司会		波多野憲男 (大会実行委員長 四日市大学環境情報学部)
挨拶および趣旨説明	13：20～13：30	能美 誠 (学術交流委員長 鳥取大学農学部)
講演 1	三重県の生活創造圏と伊勢志摩圏域整備について (仮題) 13：30～14：00	加藤光徳 (伊勢市市長)
講演 2	市民が見た四日市生活創造圏の農村 14：00～14：30	藤田倫子 (四日市市都市計画審議会委員)
講演 3	都市と田園の共生をめざした土地利用計画の試み—三重県の事例から— 14：30～15：00	浦山益郎 (三重大学工学部)
話題提供	15：00～15：30	2名の話題提供者による話題提供 広田純一 (岩手大学農学部) 村上佳代 (早稲田大学都市・地域研究所)
休憩	15：30～15：45	
パネルディスカッション	15：45～17：20	座長 石田正昭 (三重大学生物資源学部)
閉会挨拶	17：20	波多野憲男 (大会実行委員長)